

越前和紙の里 ー越前市五箇地区ー

越前和紙の里、越前市五箇地区は福井県嶺北地方のほぼ中央に位置しています。

五箇とは不老・大滝・岩本・新在家・定友の五つの地区をさし、もっとも奥の大滝地区には紙祖神「川上御前」をお祀りする岡太神社・大瀧神社があります。現在の社殿は江戸時代後期の再建で、1984（昭和59）年に国の重要文化財に指定されています。昔ながらの町並みを残す五箇の風景は「次世代に継承すべき美しい日本の歴史的風土が良好に保存されている地域」として、「美しい日本の歴史風土100選」にも選ばれました。



紙祖神 岡太神社・大瀧神社
(国重要文化財指定)



和紙の里の風景



紙の文化博物館正面

卯立の工芸館

江戸時代中期の紙漉き家屋を1997（平成9）年に定友地区より移築、復元しました。1階では伝統工芸士が昔ながらの道具を使って和紙を漉いています。原料の調整から屋外での天日干しなど、和紙が作られる一連の工程を見ることが出来ます。2階のギャラリーでは和紙にまつわる様々な企画展が随時行われています。（紙漉き見学は午後4時まで：約20分間）

パピルス館

色紙やはがきなど、オリジナルの和紙を漉くことができる体験施設です。スタッフの補助で、20～40分ほどで和紙づくりができます。押し花や染料なども用意していますので、自由な発想でチャレンジしてください。（色紙500円～）館内の売店「和紙処えちぜん」は様々な和紙や朱印帳、折り紙、しおりなどの雑貨も豊富に揃っています。



[自動車]
・北陸自動車道武生IC
より約10分
・JR武生駅より約30分

[バス]
・JR武生駅より福鉄バス
「南越線」和紙の里下車
徒歩5分

ご利用案内

開館時間 午前9時30分から午後5時まで
(入館は午後4時30分まで)
休館日 火曜日・年末年始(12/28～1/4)
※祝日の場合は開館

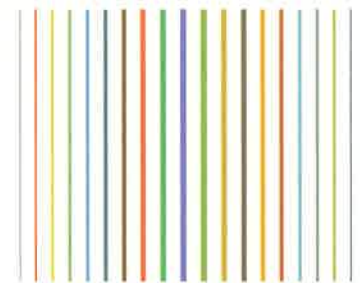
種別	区分	越前和紙の里紙の文化博物館・卯立の工芸館入館料	
		個人	団体(15人以上)
常設展	大人	200円	150円
	高校生以下	無料	無料
特別展開催時	大人	300円	200円
	高校生以下	無料	無料

※障がい者手帳等をお持ちの方は半額

〒915-0232 福井県越前市新在家町11-12
Tel: 0778-42-0016 Fax: 0778-42-3260
E-mail: museum@echizenwashi.jp
Website: http://www.echizenwashi.jp



和紙を知り、学ぶ。



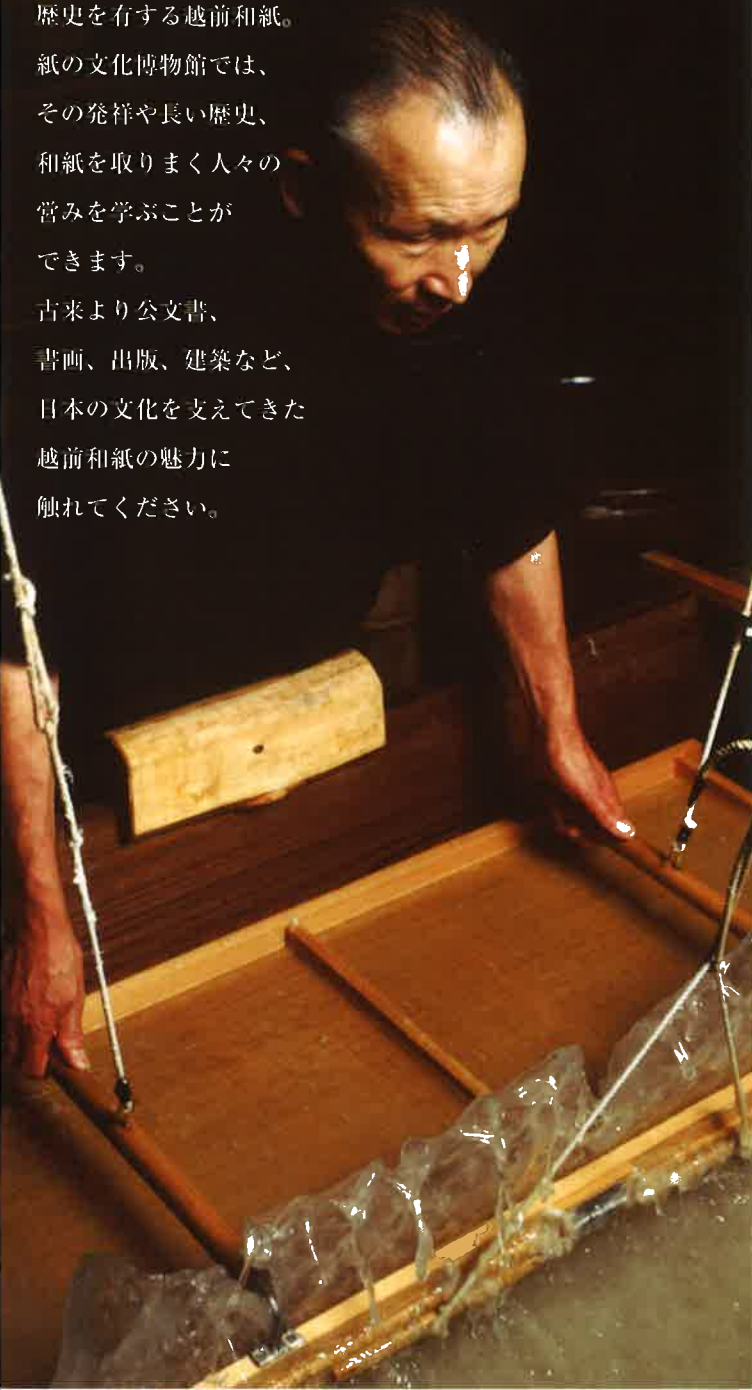
越前和紙の里

紙の文化博物館

Museum of Washi and Culture

和紙を知り、学ぶ。

1,000年を超える
歴史を有する越前和紙。
紙の文化博物館では、
その発祥や長い歴史、
和紙を取りまく人々の
営みを学ぶことが
できます。
古来より公文書、
書画、出版、建築など、
日本の文化を支えてきた
越前和紙の魅力に
触れてください。



本館 1F 和紙の里・ガイダンスゾーン

越前和紙発祥の伝説や、五箇地区の歴史を紹介します。また産地を代表する和紙のひとつ、奉書紙の製作工程を映像で紹介するほか、生活の中の和紙を提案するコーナー、実際に和紙を体感するコーナーなど、産地の歴史と現在をご覧ください。

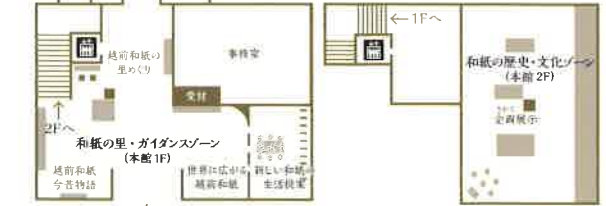


1F



FLOOR GUIDE

2F



本館 2F 和紙の歴史・文化ゾーン

2014(平成26)年に越前和紙の製作用具及び製品が国の重要無形文化財に指定されたことを受けて、2017(平成29)年に企画展示室としてリニューアルオープンしました。
年数回の特別展示として、越前和紙の歴史的な資料や、美術品を展示します。



別館 和紙の交流・情報ゾーン

種類が多いことが特長のひとつと言われる越前和紙。奉書紙や鳥の子紙など伝統の紙をはじめ、産地を代表する様々な技法や模様和紙約120枚を展示しています。お気に入りの和紙を見つけてください。
和紙情報ライブラリーでは、越前和紙に関連した書籍をご覧ください。
別館は多目的室として、講演会やワークショップなどのイベントも随時開催いたします。

